

# 令和2年度特別会計予算

## ●住宅新築資金等貸付事業

総額を285万円とするもの。前年度比では、金額にして14万円、率にして5・0%の減となっており、この減額の要因は、公債費および貸付金の償還が進んできたことによるもの。

可決(全員)

## ●給与等集中処理

総額を15億2125万円とするもの。前年度比では、金額にして3934万円、率にして2・5%の減となっている。

可決(全員)

## ●国民健康保険事業

総額を18億1623万円とするもの。前年度比では金額にして6863万円、率にして3・6%の減となっており、この減額の主な要因は、医療費の縮減により国民健康保険事業納付金が減となったもの。

可決(全員)

## ●宮川奨学資金

総額を2004万円とするもの。前年度比では、金額にして60万円、率にして3・1%の増となっており、この増額の要因は、貸付金戻し入れ増に伴う基金積立金の増によるもの。

可決(全員)

## ●国民健康保険直診

総額を8640万円とするもの。前年比では、金額にして202万円、率にして2・4%の増となっており、昨年度と同様の予算となっている。

可決(全員)



常勤医師の待たれる拳ノ川診療所

## ●後期高齢者医療保険事業

総額を2億1283万円とするもの。前年度比では、金額にして351万円、率にして1・7%の増となっており、この増額の主な要因は、後期高齢者医療保険料と後期高齢者医療広域連合納付金などの増によるもの。

可決(全員)

## ●介護保険事業

総額を17億3017万円とするもの。前年度比では、金額にして2516万円、率にして1・5%の増となっておりこの増額の要因は、保険給付費などの増によるもの。

可決(全員)

## ●介護サービス事業

総額を1874万円とするもの。前年度比では、金額にして73万円、率にして4・1%増となっており、昨年度と同様の予算となっている。

可決(全員)

## ●情報センター事業

総額を2億8923万円とするもの。前年度比では金額にして1488万円、率にして5・4%の増となっており、この増額の要因は、通信サービス提供事業費の増によるもの。

可決(全員)

## ●農業集落排水事業

総額を4220万円とするもの。前年度比では、金額にして451万円、率にして12・0%の増となっており、この増額の要因は、長寿命化を図るため機能強化計画書作成経費の増によるもの。

可決(全員)

## 討論

反対 宮地 葉子議員



情報センター事業特別会計の通信サービス提供事業で、1777万円が昨年より増額になっている。伝送システムのバージョンアップとすることで、住民サービスも必要だが、今後多額の税金を費やすことになる。当初予算の方に反対討論しなかったが、この特別会計に繰出金が出ていたので、同じ理由で反対する。

## ●漁業集落排水事業

総額を535万円とするもの。前年度比で、5万円の減となっている。

可決(全員)

## ●水道事業

総額を2億6130万円とするもの。昨年度とほぼ同様の予算となっている。

可決(全員)